

はじめにー病室にてー

それは突然のことだった。2015年10月2日、その日は、いつもと違って時間に余裕ができた。肥田教頭先生に「数日前にフェアウェイウッドを購入したので、今日は練習に行ってくる」と言って、珍しく18時少し前に、学校を後にした。

車の中で、3月に海外体験学習事業の団長として行ったオーストラリアのことを思い出しながら、後日来校するマセドンレジス市（姉妹都市）をどのように迎えようかと考えていたことを覚えている。

ゴルフ場に着いた。学校から5分程度の距離である。100球打てばいいかなと思いつつながらトランクを開け、バッグを引っ張り出した。そこまでは覚えている。

西知多総合病院のベッドにいたことが、少しずつ分かってきた。手は動かない、足は動かない、声も出ない。機械に繋がれている。しかし、まだ夢の途中のようで、意識ははっきりしない。

長い夢を見た。父と母、隣に自分。病室に寝かされている自分を高いところから見ている。父と母が話しかけてくる。「何をやっているんだ！」と…。

「今日はいつ？」「自分はどうしたのか？」「何があったのか？」…声にはできないが、相手の声はかすかに分かる。

そして、今日が11月下旬だということを知った。約2か月、意識がなかったことになる。

意識は徐々に鮮明になっていったのだろう。倒れたことが分かってきた…。心肺停止・呼吸停止・AED4回、気管切開、人工透析、MRIにCT。最先端の治療が施されたとのこと。自分の身に起きるとは思っていなかった言葉が並んだ。

最初は、口を閉ざしていた家族もポツリポツリと状況を語り始めた。発見が後1～2分遅かったら命がなかったこと、救急車がすぐ来たこと等々。

その間、医師・看護師、家族や親せき、肥田教頭や竹内教務主任、本校職員を始めとした学校関係者、テニスの友人等々、数多くの方々に心配と迷惑をかけたことを思うと胸が痛んだ。小島登さんにはとりわけお世話になった。

さて、現実が見えてくると絶望も襲ってくる。復帰の目途がたたない。しか

し、心の中で「自分はこんなはずではない、元通りにする」と信じて疑わなかった。後日聞いたことだが、気がついて間もなく、息子の友人、猪俣君に「杖がほしい」と文字盤（声が出ないので）に目で合図したそうだ。そして購入してきてもらったが、点滴、しかも胃へ直接栄養をいれている段階だったので歩くことはとても無理だった。

12月初め、西知多リハビリテーション病院へ移った。まだ、立てずめまいもある中、介護タクシーによる移動である。その際、初めて季節が冬になっていることに気付いた。

また、初めて水を飲んだ。入院中、水をごくごく飲むことが夢だったので、嬉しかった。やはり水は生命の源である。

実際に車椅子で動けるようになったのは、年が明けた2月頃である。実はそれからの方が苦しかった。言葉は出るようになったものの、元通りに生活できないもどかしさと、学校に復帰できるのだろうかという不安の日々だった。

しかし、人は目標をもち強く願えば、その願いは、必ずかなうと思ひ込むことにした。車椅子でいいから卒業式に出たいという願いである。

リハビリは1日30～40分が3回位置付けられていた。そんな中、卒業式に出たいという願いは、さらなるトレーニングを後押ししてくれた。

幸い個室だったので、室内で試みても家族や看護師にはあまり気付かれずにすんだ（実は、後遺症の心配もあり運動制限があった）。

その結果、普通は車椅子から歩行器、松葉杖、一本杖、独歩という段階を経るのだが、松葉杖、一本杖の段階を飛ばすことができた。しかし、頭のふらつきは治らず、真っ直ぐに歩くことが困難であった。

2016年3月3日、卒業式前日、小島悠揮先生に家まで迎えにきてもらい、約150日ぶりに加木屋中学校の門をくぐった。

正面玄関に向かう階段を一步一步登ると、玄関から職員室前の廊下にて、全職員が迎えてくれた。

校長室には「お帰りなさい」の横断幕と飾り（まるで幼稚園の遊戯室のような）、さらに3年生の生徒一人ひとりからのメッセージがあった。職員室には、職員からのメッセージもあった。嬉しかった。準備をしてくださった皆さんに感謝であ

る。

卒業式当日は「みんなに迷惑をかけないか」珍しく緊張した。家族に待機してもらった。後で知ったのだが、西知多総合病院・リハビリテーション病院の看護師さんにも待機していただいていた。

卒業式が吹奏楽のファンファーレと共に始まった。吹奏楽・BGM・ピアノ演奏には、自分の好きな曲（中島みゆき「糸」など）が選曲されていた。

生徒の呼名に対する返事、生徒の涙、加藤朝夫教育長・梅木正仁PTA会長のお帰りの祝辞、ソフトテニス部の柴山君の答辞、1・2年生の「大切なもの」3年生の「旅立ちの日に」の歌声、そして校歌、涙があふれた。

この感動は、一生忘れることができないものとなった。すべての人に感謝である。

さて、これまでの話が長くなって申し訳なかったが、私は、2016年4月に、学校に復帰した。

復帰には前教育長で恩師でもある深谷孟延先生からの「何があっても続けて、終わりを迎えろ」の言葉に後押しもしていただいた。

医師から社会復帰は無理と言われていたので、このことは本当に嬉しかった。

こうして、教員生活38年目最後の年が始まった。

生存確率0.04%、後遺症が残らない確立0.01%と医師に言われた生命。なぜ生かされたかと考えながら、これまでを振り返ってみた。はたして教育に携わる者として何か貢献できたであろうか、自分自身に問う。特に見当たらなかった。

ただ、これまでに教師向けに出してきた通信がある。通算約360号。それくらいしか、教員として生きてきた証は残せないと思う。そこで、その中から、今回、数をしばって本書にまとめた。

学校の風景では、教育雑感に近いが、根底に子どもと教師の関わりや子ども理解を意識してまとめた。

授業の風景では、できる限り各教科・領域を網羅するように選び、授業記録を中心に授業改善の視点を意識してまとめた。

以下、拙い実践内容であるが一読いただきご批判をしていただければ幸いと考えている。

学校の風景そして授業の風景
—子どもと教師の学び合い—

目 次

はじめに — 病室にて —	i
---------------------	---

第1部 学校の風景 — 教師として大切なもの —

小学校の風景	3
--------------	---

1. オシム監督に学ぶ 4
2. 話し合い活動におけるレベル 4
3. 悩みを聞いてください 5
4. 短く、分かりやすく（朝の打ち合わせ） 6
5. 「45文字」 7
6. 正直に映し出したレポートを 8
7. 少し見る目を変えて 10
8. ある子を通して授業を観る 11
9. 見えていた課題？ 見えてきた課題？ 12
10. コーヒーを持参して（自主研修会） 14
11. 協議会 15
 - 授業者の反省は最後に 16
 - 意図的指名？ 16
 - 授業のヤマ場で、じっくり協議 16
 - 「ざまあみろ」と「ちょっと言い過ぎた」 17
 - 後半の議論 17
 - 協議に耐えうる授業 18
 - 参観の視点としての参考に 18
12. 学校訪問が来ると思い出す 19
 - すべりこみアウト（資料） 20
13. ありのままの研究紀要 21
14. 職員室にて 23
15. 校長室にて資料を読み合う 24
16. 「考え、話し合う」授業に結び付ける環境 25
17. 教育観が反映される掲示 26

18. 空き教室を見るとよく分かる 27
19. 鈴虫の音色 28
20. 本物と出会う「世界陸上」 29
21. 感動の正体は何? 30
22. 学級のドラマを、そこに生きている子どもの姿で 31
 - A男に思う 31
 - クラスの実態 32
23. 表情が映し出す 33
24. 子どもは何をつかんで帰ったのだろう 35
25. この子を色眼鏡で見てしまって 38
26. 一緒に汗を流して 39
27. ともだち 40
28. ペンギンがいたよ 42
29. ペンギンがいたよ2 43
30. 「 $7-5=3$ 」? 44
31. どんぐり 45
32. 1年生の絵 46
33. 両手を合わせて「ごめんなさい」 47
34. じゃあね、先生あそんでくる 48
35. 先生、あててよ 49
 - わからな〜い 49
 - ひごこぞう 50
 - $5 \times 6 = 11$? 50
 - うなずきと笑顔 50
 - 先生あててよ 51
36. 遅れてごめん 52
37. 膝の中で 52
38. 校長室の清掃 53
39. 予想からのズレ 54
40. 金庫の中にお母さんの服? 56

41. S君への手紙 57
 4年担任K先生による卓也君の記録 58
 5年担任T先生による卓也君の記録 58
 6年、再び担任K先生による卓也君の記録 59
 S君への手紙 59

中学校の風景 61

1. 生徒の心に火を 62
 2. 教師十戒 63
 3. 自主研修スタート 63
 生徒も一人の人間 65
 4. スピード・熱意と誠意・そして粘り 65
 5. 先生、来ました！ 67
 6. いってらっしゃい・お帰りなさい 69
 7. 家庭訪問の極意 70
 家庭訪問10箇条 71
 本年度の「重点努力目標」前文より 71
 8. 心を磨く部活動 72
 部活動でこんなことに悩んでいます 72
 経験の浅い教師に 73
 9. 変わる部活動 74
 10. 野球部の皆さんへ 75
 空を見ると落ち着く 76
 勝負は夏 76
 11. 俺たち変わるんだ 76
 12. 厳しい冬の深い雪の下には 77
 生徒に 79
 13. 金環食 79
 14. パック牛乳のスマートな飲み方 81
 15. 黙々清掃で心を磨く 81

- 16. プラス a の掃除 82
- 17. 生徒の存在 83
- 18. 命の使い方 84
- 19. 今、存在する 84
- 20. 志をもって 85
- 21. 決断を迫られたら 85
- 22. 自立 86
- 23. 生徒Aのこと 86

第2部 授業の風景 — 授業で勝負できる教師を増やしたい —

小学校の授業風景 91

- 1. たんぼぼのちえ (2年国語) 92
 - すごい さいのうだ 92
 - 他の教科とのつながり 92
- 2. 米作りのさかんな地域 (5年社会) 93
 - お米品種ランキング (情報センター) 94
 - 何日も何日も調べる：つかむ段階 94
 - 農家の人になり切って：追求する段階 95
 - アイガモ農法：授業のヤマ場 96
 - 授業をさらに深めるには 97
- 3. 信長・秀吉・家康 (6年社会) 98
 - 授業をします 98
 - 三武将の生き方を探る 98
 - 三武将の生き方を今後に生かす 100
- 4. 織田信長 (4年社会) 101
 - 調べたことを短冊に 102
 - 信長は本当に偉いの？ 103
 - 書き写したことをひたすら読むのは？ 103
 - ねらいは何？ 104

- 難しかった 104
5. 黒船 (6年社会) 105
 米俵は何に使ったのかな 108
 のた〜っとした顔してる 109
6. ああ野麦峠 (6年社会) 110
 ほお〜っつと、うなづく 110
 論点を生む 114
 ああ野麦峠 114
7. 基本的人権その1 (6年社会) 115
8. 基本的人権その2 (6年社会) 119
9. ベテラン絢美先生の算数 (1年) 123
 集中力を高める方法を求めて 123
 S君の思考方法を大切にしながらの支援 124
 さりげなく、しつげを 125
 しっかり伝え・しっかり聴く 125
 さまざまな工夫 126
 1の位が関係する 126
 大きさを比べる 127
10. 初任研修卒業の授業 (5年算数) 132
 何が入っているのかな 132
 サイコロキャラメル 133
 いよいよ授業のヤマ場へ 135
 いい授業が学級経営の基本 136
11. ミジンコ (4年理科) 137
 ミジンコも一生懸命生きている 137
12. 折れた表紙 (6年道徳) 139
 A君のこと 139
13. つりばしゆらそう (2年道徳) 141
 教師の予想と子どもの反応のズレ 141
 予想通りの発言 (基本発問) 142

- 「楽しいから死んでもいい」(中心発問) 143
複雑に道徳的価値がからむ(把握の発問) 143
14. くつ(2年道徳) 150
子どもの発言に寄り添う 151
こういう子どもが増えていないか 151
考え始める子ども達 152
15. 美しい母の顔(5年道徳) 157
初任者のために 157
学級の雰囲気は教師がつくる 158
どっぷり内容につかる 160
16. 雨のバス停留所で(4年道徳) 161
音を聞かせる 162
役割演技は難しい 162
授業記録から見えてくる 166
次につなげる 167
17. リフティング百回(3年道徳) 168
子どもがお客さんになってしまっ 169
話し合いたいところに線を 174
なるほど、ここね 175
子どもはよく聞いていた 175
焦点化する 176
ねらいへどう向かう 177
私がお客さんでした 177
18. 初めての道徳(5年) 177
事前の自主研修 178
予想を超える発言 179
周りの人との関わりで考える 181
19. 道徳の授業で大切なこと(1) 187
ねらいは達成された? 187
適切な資料だったかな? 188

- 導入が長すぎないか 188
20. 道徳の授業で大切なこと (2) 189
- 多様な価値観が出てくる中心発問 189
- もう1人の自分との対話「価値の自覚」 189
- 終末が難しい 189

中学校の授業風景 191

1. 漢字の学習 (2年国語) 192
- 生徒の様子は授業を映す鏡 196
2. シカの「落ち穂拾い」(1年国語) 196
- 温かいクラスにするために 196
- 関心・意欲を引き出す 201
- ねらいは達成された? 201
- 例示が分かりにくい 201
- 気になった生徒N 202
3. 字のない葉書 (2年国語) 202
- 教師はよくしゃべる 208
- 授業の流れの分断 208
- 感想の発表のさせ方 208
4. 新聞記事を使って (3年社会) 209
5. どうして動物園のサルは人類にならないのか (1年社会) 211
- 発問が素晴らしい 215
- 温かい雰囲気 215
6. 白銀比 (3年数学) 216
7. 一次関数 (2年数学) 219
- さらに分かりやすく 223
- 考えさせる場面 223
8. かたくちいわし (2年理科) 224
9. リンゴが落ちる (特別支援・理科) 227
10. Mr. 小島、最近いいぞ (3年英語) 232

11. 初任者研修（1年と英語） 234
 - テンポを大切に 234
 - ほめることの大切さ 235
12. ペンギンは AIKO よりかわいい（2年英語） 236
 - 2年生の先生、顔写真で登場 236
 - 分かりやすい今日の授業のポイント 237
 - 気になる生徒A 237
13. トウ・イドウ・ドウ（1年英語） 238
 - 音に気をつけて 242
 - 相談タイム5秒 242
 - 生徒の良いところを見つけて 242
 - もっとよい授業をしたい 243
14. 帰れソレント（3年音楽） 244
 - 話し合いのある音楽の授業 244
15. ジャポんにひらめきを得たジャポニズム（1年美術） 246
 - 自然な応対 249
 - さらに調べたくなる 250
16. 柔道一直線って知ってる？（2年体育） 251
17. 銀河鉄道 999（2年体育） 253
 - いいところを 254
 - 改善点ですが 255
18. 運動やスポーツの必要性、そして楽しさとは（1年保健） 255
 - 後はさっぱりと 257
 - 生徒の発言は面白い 258
19. 着衣泳（3年体育） 259
 - 浮いて待て 259
20. 笑いのある授業（2年保健） 261
 - 検索願いをさせ 261
 - 重光、リベンジする？ 262
 - 普通じゃない走りもできるんだな 263

21. より安全に配線をつなごう (2年技術) 264
安易なグループでの話し合い 267
22. アジの三枚おろし (1年家庭) 268
23. 道徳の授業における調査結果 270
24. 思いやるとは (3年道徳) 274
25. ドラえもんの最終回 (2年道徳) 277
思いをもって授業に臨む 277
終末で分かる授業者のねらい 278
迷いの部分に人間性が映し出される 282
○○とは少し違うけど 282
26. 風に立つライオン (2年道徳) 284
無気力な生徒Aに向けて 286
27. シカさんの手紙 (1年道徳) 293
授業の中心に据えた生徒A 293
そんな生徒Aにぶつける資料 293
生徒Aの授業の様子 300
保護者からの手紙 300
28. ジョイス (2年道徳) 301
授業の中心に据えた生徒B 302
人っていいな 309
もう一歩 309
自分との関わりで捉える 309
29. ハチドリのひとしずく (1年道徳) 310
生徒の思考の流れを大切に 316
東山動物園から多摩動物園へ 317
30. ウサギとカメ (特別支援道徳) 318
特別支援の道徳は難しい 325
生徒の記述より 326
授業改善のポイント 327
31. 授業での生徒Mのこと「ウサギとカメ」(2年道徳) 328

猛スピードで走るカメ	331
童謡「もしもしカメよカメさんよ」	331
生徒Mが変われるチャンスに	332
問い直したい	333
教師の発言	333
価値の自覚	333
32. 「人を助けることは、大切だと分かった」	334
おわりに—2つの成人式：教師は微力—	337
謝 辞	341